



## 2018年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2017年8月4日

上場会社名 株式会社ソラスト 上場取引所 東  
 コード番号 6197 URL http://www.solasto.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 泰彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 春山 昭彦 TEL 03 (6890) 8904  
 経営企画本部長  
 四半期報告書提出予定日 2017年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2018年3月期第1四半期の連結業績（2017年4月1日～2017年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第1四半期	17,427	8.6	947	14.5	948	20.6	613	21.8
2017年3月期第1四半期	16,043	2.9	827	25.8	785	18.4	504	40.1

(注) 包括利益 2018年3月期第1四半期 617百万円 (21.3%) 2017年3月期第1四半期 509百万円 (40.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第1四半期	20.20	19.57
2017年3月期第1四半期	17.83	16.19

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、2017年3月期第1四半期は、当社株式が2016年6月29日に東京証券取引所市場第一部に上場したため、新規上場日から2017年3月期第1四半期連結累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第1四半期	24,187	10,179	42.1
2017年3月期	23,802	10,257	43.1

(参考) 自己資本 2018年3月期第1四半期 10,179百万円 2017年3月期 10,257百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	20.00	—	23.00	43.00
2018年3月期	—	—	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	21.00	—	23.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2018年3月期の連結業績予想（2017年4月1日～2018年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,102	5.8	1,793	1.9	1,782	3.9	1,153	3.7	37.95
通期	70,003	7.0	4,032	10.3	4,015	10.7	2,640	6.7	86.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期1Q	30,400,200株	2017年3月期	30,378,900株
② 期末自己株式数	2018年3月期1Q	－株	2017年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年3月期1Q	30,386,759株	2017年3月期1Q	28,270,200株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 四半期決算補足説明資料及び本日開催予定の機関投資家・アナリスト向け決算説明会（電話会議）における資料については、2017年8月4日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(当社ウェブサイトURL)

<http://www.solasto.co.jp/ir/jp/>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2017年4月～6月)における当社グループの業績は、前年同期比で増収増益となりました。売上高は、医療関連受託事業及び介護・保育事業がともに好調に推移したため、前年同期比で8.6%増加し17,427百万円となりました。営業利益は、医療関連受託事業及び介護事業の増益により前年同期比で14.5%増加し947百万円となりました。さらに、営業利益率は、医療関連受託事業の利益率が上昇したこと等により0.2%ポイント上昇し、5.4%となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期 (2016年4月～6月)	2018年3月期 第1四半期 (2017年4月～6月)	増減	増減率	(参考) 前期 (2016年4月 ～2017年3月)
売上高	16,043	17,427	+1,383	+8.6%	65,413
営業利益 (同率)	827 (5.2%)	947 (5.4%)	+120	+14.5%	3,654 (5.6%)
経常利益 (同率)	785 (4.9%)	948 (5.4%)	+162	+20.6%	3,626 (5.5%)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (同率)	504 (3.1%)	613 (3.5%)	+109	+21.8%	2,473 (3.8%)

## &lt;事業セグメント別の状況&gt;

## [医療関連受託事業]

売上高は13,244百万円、前年同期比5.6%増となりました。生産性改善、クオリティー改善、採用力の強化等が医療機関から評価され、新規契約の受注、既存顧客との取引拡大、派遣売上の増加等に結びつき成長率が上昇しました。

営業利益は1,269百万円、前年同期比15.4%増となりました。営業利益率は9.6%、前年同期比0.8%ポイント上昇しました。業務全般の生産性向上や増収に伴う売上総利益の増加が寄与しました。生産性改善の一環として、当社が提供するサービスの価値の訴求を積極的に行いました。また、社員のモチベーションの維持向上に寄与する処遇改善を積極的に行いました。

## [介護・保育事業]

売上高は3,997百万円、前年同期比21.4%増となりました。前期に完了したM&Aによる介護事業所数の増加が増収に寄与しました。また、それ以外の既存の事業所につきましても、訪問介護等の在宅系サービスを中心に利用者数が増加しました。

営業利益に関しましては、介護事業は、積極的なM&Aに伴うトランザクションコストが増加したものの、生産性向上や増収に伴う売上総利益の増加により吸収し、増益となりました。保育事業は、事業拡大に伴う先行投資費用が発生したことにより、減益となりました。この結果、セグメント全体としての営業利益は247百万円、前年同期比3.4%増となりました。営業利益率は6.2%、前年同期比1.1%ポイント低下しました。

なお、2017年6月末における介護事業の事業所数は260ヵ所となり、2017年3月末と比べて14ヵ所増加しました。保育事業の施設数は14ヵ所となり、2017年3月末と比べて1ヵ所増加しました。

今後も当社グループの売上高成長を牽引するため、積極的にM&Aを推進していきます。

## [その他事業(キャリアセンター等)]

売上高は184百万円、前年同期比13.6%減となりました。教育事業における受験者数の減少等によるものです。

営業損失は、キャリアセンターによる採用プロセスの改善やトレーニングを積極的に実施したことにより、50百万円となりました。人材の採用及び育成の強化という今期の重点施策に沿った取り組みを着実に推進することができました。

(単位：百万円)

		2017年3月期 第1四半期 (2016年4月～6月)	2018年3月期 第1四半期 (2017年4月～6月)	増減	増減率	(参考) 前期 (2016年4月 ～2017年3月)
医療関連 受託事業	売上高	12,536	13,244	+707	+5.6%	50,817
	営業利益 (同率)	1,100 (8.8%)	1,269 (9.6%)	+169	+15.4%	4,950 (9.7%)
介護・ 保育事業	売上高	3,293	3,997	+704	+21.4%	13,862
	営業利益 (同率)	238 (7.3%)	247 (6.2%)	+8	+3.4%	884 (6.4%)
その他 (キャリア センター等)	売上高	213	184	△29	△13.6%	733
	営業損失 (同率)	△39 (-)	△50 (-)	△10	-	△226 (-)
全社費用		△471	△518	△46	-	△1,953
合計	売上高	16,043	17,427	+1,383	+8.6%	65,413
	営業利益 (同率)	827 (5.2%)	947 (5.4%)	+120	+14.5%	3,654 (5.6%)

(注) 上記<事業セグメント別の状況>に記載している売上高及び全社費用は、P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」の外部顧客への売上高及び調整額の数値を記載しています。なお、調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、各報告セグメントに配分していないものです。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は14,660百万円と前期末に比べ299百万円減少しました。これは、主に2017年3月期末配当金の支払いや賞与の支給に伴い現金及び預金が減少したためです。

固定資産は9,526百万円と前期末に比べ685百万円増加しました。これは、積極的なM&Aに伴うのれんの増加等によるものです。

これらの結果、当第1四半期末の総資産は24,187百万円となり、前期末に比べ385百万円増加しました。

(負債)

流動負債は10,890百万円と前期末に比べ706百万円増加しました。これは、主に当座貸越の実行に伴い短期借入金が増加したためです。

固定負債は3,117百万円と前期末に比べ243百万円減少しました。これは、主に長期借入金を流動負債の1年内返済予定の長期借入金へ振り替えたことに伴い減少したためです。

これらの結果、負債合計は14,007百万円となり、前期末に比べ462百万円増加しました。

(純資産)

純資産は10,179百万円と前期末に比べ77百万円減少しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方、2017年3月期末配当金を支払ったためです。

以上の結果、自己資本比率は前期末の43.1%から42.1%と1.0%ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2017年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,979,842	5,380,574
受取手形及び売掛金	7,614,148	8,109,565
貯蔵品	94,488	82,208
その他	1,273,242	1,089,892
貸倒引当金	△1,343	△1,283
流動資産合計	14,960,378	14,660,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,612,256	2,754,619
土地	918,154	945,350
その他(純額)	859,833	990,473
有形固定資産合計	4,390,244	4,690,444
無形固定資産		
のれん	2,491,186	2,729,541
その他	378,542	421,740
無形固定資産合計	2,869,729	3,151,281
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,604,973	1,708,228
貸倒引当金	△23,108	△23,007
投資その他の資産合計	1,581,864	1,685,220
固定資産合計	8,841,839	9,526,946
資産合計	23,802,217	24,187,904
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,189,440	2,188,249
未払金	4,686,109	5,145,226
未払法人税等	877,117	457,344
賞与引当金	1,223,629	642,805
役員賞与引当金	43,500	14,502
その他	1,164,098	1,742,472
流動負債合計	10,183,895	10,890,599
固定負債		
長期借入金	1,256,587	954,173
退職給付に係る負債	1,145,454	1,152,720
資産除去債務	150,660	151,323
その他	808,513	859,142
固定負債合計	3,361,215	3,117,360
負債合計	13,545,110	14,007,959
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	478,176	479,955
資本剰余金	5,381,536	5,383,315
利益剰余金	4,475,849	4,391,050
株主資本合計	10,335,562	10,254,320
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△78,455	△74,375
その他の包括利益累計額合計	△78,455	△74,375
純資産合計	10,257,106	10,179,944
負債純資産合計	23,802,217	24,187,904

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上高	16,043,864	17,427,195
売上原価	13,391,361	14,500,347
売上総利益	2,652,502	2,926,847
販売費及び一般管理費	1,824,939	1,979,228
営業利益	827,562	947,619
営業外収益		
受取利息	0	4
受取配当金	2,405	811
受取保険金	1,096	3,137
補助金収入	8,695	6,868
その他	3,679	4,145
営業外収益合計	15,876	14,968
営業外費用		
支払利息	12,410	10,990
株式公開費用	44,153	—
その他	899	3,440
営業外費用合計	57,463	14,430
経常利益	785,975	948,156
特別損失		
固定資産除却損	3,168	—
災害による損失	2,478	—
特別損失合計	5,646	—
税金等調整前四半期純利益	780,329	948,156
法人税等	276,206	334,240
四半期純利益	504,122	613,915
親会社株主に帰属する四半期純利益	504,122	613,915

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期純利益	504,122	613,915
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	5,490	4,079
その他の包括利益合計	5,490	4,079
四半期包括利益	509,612	617,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	509,612	617,995
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	780,329	948,156
減価償却費	104,181	113,056
のれん償却額	33,925	52,616
賞与引当金の増減額(△は減少)	△679,629	△584,824
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,875	△28,998
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17,204	13,146
貸倒引当金の増減額(△は減少)	247	△161
受取利息及び受取配当金	△2,405	△816
受取保険金	△1,096	△3,137
支払利息	12,410	10,990
株式公開費用	44,153	—
固定資産除却損	3,168	—
災害損失	2,478	—
売上債権の増減額(△は増加)	△83,465	△466,564
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,209	12,280
前払費用の増減額(△は増加)	203,693	195,397
未払金の増減額(△は減少)	343,694	460,490
未払消費税等の増減額(△は減少)	286,203	272,410
預り金の増減額(△は減少)	364,142	371,117
その他	△118,979	△262,835
小計	1,299,590	1,102,325
利息及び配当金の受取額	2,405	816
利息の支払額	△11,976	△10,810
法人税等の支払額	△591,997	△567,631
損害賠償金の支払額	△1,420	—
保険金の受取額	3,146	14,129
災害損失の支払額	△2,478	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	697,270	538,828
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△24,576	△105,636
有形固定資産の売却による収入	—	250
無形固定資産の取得による支出	△17,453	△108,465
敷金及び保証金の差入による支出	△6,605	△30,220
敷金及び保証金の回収による収入	14,405	1,226
事業譲受による支出	△83,731	△487,671
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△96,949
その他	2,475	13,291
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115,486	△814,175

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△300,000	△339,021
株式の発行による収入	—	3,557
配当金の支払額	△500,382	△677,119
株式公開費用の支出額	△6,070	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△9,315	△10,657
その他	—	△679
財務活動によるキャッシュ・フロー	△815,767	△323,921
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△233,983	△599,267
現金及び現金同等物の期首残高	5,831,909	5,966,339
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,597,925	5,367,071

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療関連 受託事業	介護・保育 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,536,745	3,293,149	15,829,895	213,968	16,043,864	—	16,043,864
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	12,536,745	3,293,149	15,829,895	213,968	16,043,864	—	16,043,864
セグメント利益又は損失 (△)	1,100,052	238,999	1,339,051	△39,614	1,299,437	△471,874	827,562

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないキャリアセンター(人材確保及び育成業務)、不動産賃貸業務、損害保険代理店業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△471,874千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療関連 受託事業	介護・保育 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,244,561	3,997,769	17,242,330	184,865	17,427,195	—	17,427,195
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,244,561	3,997,769	17,242,330	184,865	17,427,195	—	17,427,195
セグメント利益又は損失 (△)	1,269,126	247,241	1,516,367	△50,184	1,466,183	△518,563	947,619

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないキャリアセンター(人材確保及び育成業務)、不動産賃貸業務、損害保険代理店業務等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△518,563千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
- 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。